資料１

平成２４年度

行政評価の取り組みについて

平成２４年９月

南丹市企画調整課

１．平成２３年度の取り組みについて

○　施策内における事業の優先順位を決定

○　成果目標等から具体的な活動内容で事業を評価

○　施策に対する事業の貢献度を評価

○　事業の有効性と費用対効果を検証し歳出削減の提案

２．平成２３年度の課題について

○　意思決定機能の強化と評価結果の有効な活用

○　評価の目的や意図に対する職員の理解不足

○　組織マネジメントの仕組みと構築が必要

○　評価結果の事業見直しへの反映方法が不明確

３．平成２４年度の行政評価の取り組みについて

○　行政評価の活用促進のため、評価結果情報を可視化

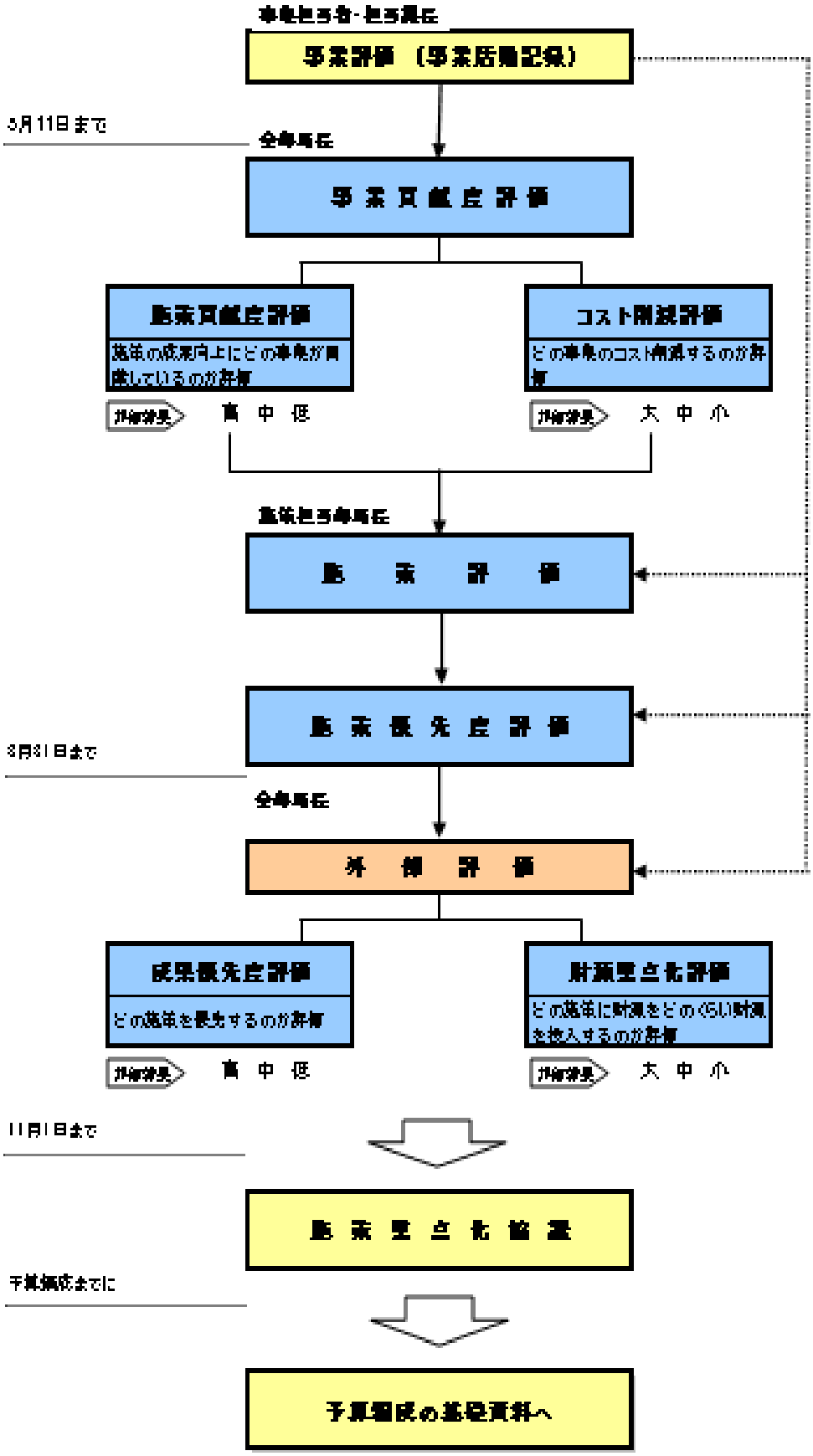
○　評価結果の進行管理と予算につなげるプロセスの定着

○　脆弱な推進体制と評価結果に対する意思決定機能の強化

○　事業の整理・統合・削減の判断

○　成果志向による行政経営

４．平成２４年度行政評価の流れについて



５．事業貢献度評価

○　評価の方法

全部局長がグループに分かれて協議により３段階で評価

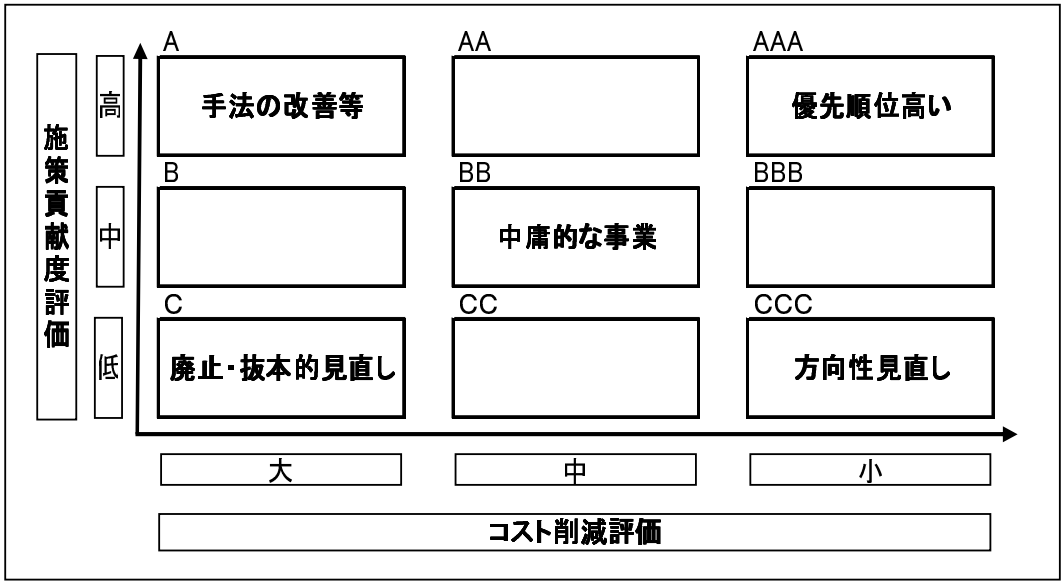
○　施策貢献度評価

事業の成果が、施策の目標達成にどの程度貢献したか。

○　コスト削減評価

費用対効果の評価を基本に、各事業のコスト削減余地を評価

事業貢献度評価（Ｌ型マトリックス図）



６．施策優先度評価

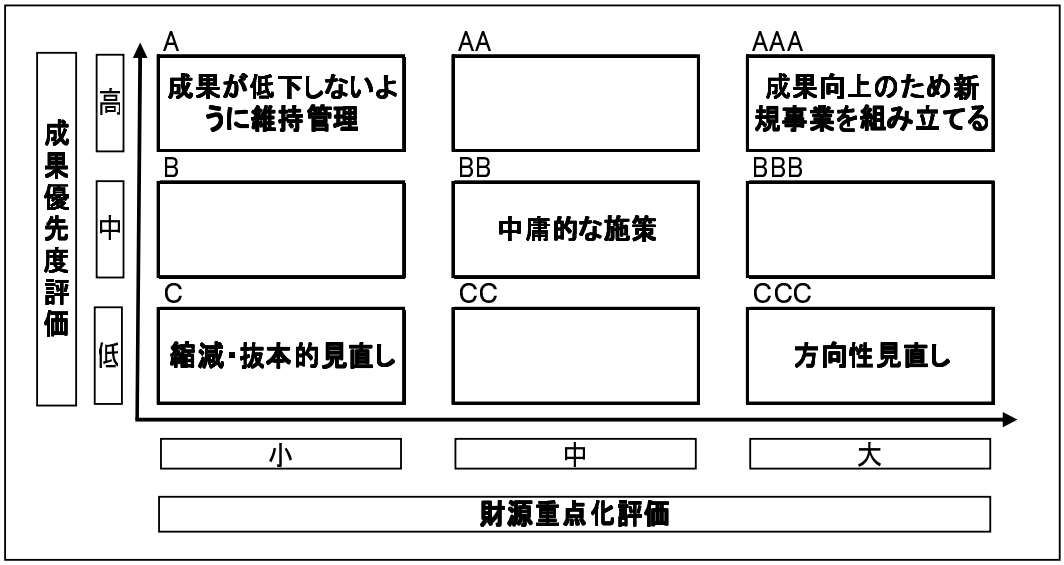
○　評価の方法

部局長全員が、様々な評価情報をもとに３段階で評価

○　成果優先度評価

成果からみて施策の中でどれを優先するのか

○　財源重点化評価

どの施策に財源をどれぐらい投入するのか。

施策優先度評価（Ｌ型マトリックス図）